

第8回議会報告会

4月22日上江端集落開発センター、5月16日京ヶ島ふれあいセンター、5月24日小松集落開発センターで開催しました。当日は3月定例会での主な内容について報告した後、質疑応答を含め参加者との意見交換を行いました。各会場でいただいた意見等の一部を紹介いたします。なお、掲載内容については要約してありますのでご了承ください。

報告内容についての質疑応答

質問 水原中学校内に市民図書室が入っているが、安全面の確保がなされているのか。

回答 警備員は配置されていない。図書館職員が常駐している。地域をあげて学校を見守るという意味もある。夜間はシャッターを下ろしている。

質問 医師確保について県や新潟大学だけに要請をするのではなく、民間業者をお願いするなどアイデアはないのか。

回答 首都圏の病院や民間の派遣会社にもコンタクトをとっているが、現状では難しい。救急についても高規格救急車を導入するなどできることから改善している。

質問 特別養護老人ホームの整備計画はどうなっているのか。

回答 平成28年度以降開所予定で、1000床と70床の規模。事業者を公募している。

質問 分田小学校の統合問題は怎么样了の。

回答 現在は白紙。児童数が少なくなれば考えなければならぬ。

質問 税金の未納は改善されているのか。

回答 未納は約7%であり、改善されている。

質問 プレミアム商品券が即売となった。制限を付けることはできないのか。

回答 1人10万円を上限としているが、家族で購入するケースもある。様々なニーズがあるので制限することも難しい。

質問 住宅リフォーム補助金は太陽光発電設備も対象となるのか。

回答 太陽光発電設備は別に補助制度がある。

。地場産瓦普及助成事業、虹の架け橋住宅取得支援事業などがあり、上手に組み合わせれば補助額は大きくなる。

質問 防災行政無線整備の予算が8億円だったが、5億円で入札と聞いた。

回答 維持管理コストを考えなければならぬ。また、家では聞こえにくいこともあるので対応を検討している。

質問 農業について、法人化など農政改革についてどう考えているのか。

回答 国からの方針もあるが、当事者から意見をあげてほしい。独自の対策を考案することが大事である。

質問 道の駅の進捗状況はどうなっているのか。

回答 遺跡発掘等でまだ開通時期は見通せないが、バイパス完成の目途に合わせて進める。

質問 新病院の建設費76億円が99億円になったのはどういう理由なのか。経営についてもやり方に問題があるのではないのか。

回答 細かな点を確認したところ増額も必要であると判断した。新たな補助金などを活用し、負担軽減も図っている。自治体病院の8割は赤字となっており、診療報酬が下がったことも原因である。厚生連のネットワークに期待していたが医師の異動は簡単にはできない。新病院の建設は魅力ある病院にするためでもある。

質問 病院建設に多額な費用をかけて採算が合うのか。医師の確保は根本から法律を変えないとできないのではないのか。

回答 危惧しているが、病院を無くすことはできないという判断をした。医師の増員もうまくいっていないなど問題はあがあるが、できることからやっている。魅力ある体制づくりと、市民から利用してもらうことが大事。また、県立新発田病院や新潟市民病院は三次医療で手一杯であり、水原郷病院は二次医療を担っている。病院の役割を考えても必要である。条件付き奨学金（県医師養成修学資金）を受けている医学生が平成27年度から卒業し始めるので、派遣すると県知事が県議会ですべて答弁している。

いただいたご意見を参考に、政策立案等に役立てていきたいと考えております。これからも多くの市民の皆様からご参加いただきますようお願いいたします。



議会報告会（議員としゃべりましょでば）開催のお知らせ

▼日時／会場

7月24日（木） 午前10時～11時／子育て支援センター「つくし」
7月26日（土） 午後7時～8時30分／西岡集落センター

▼内容

①6月定例会の報告 ②意見交換会

議会と意見交換しませんか

皆さんのもとへ出向き、意見交換会をいたします。自治会・団体・グループ等で気軽に申し込みください。

【会場】 原則、市内の公共施設・地区公会堂等

※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。

【申込方法】 申込書を議会事務局へ提出してください。

申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

新病院・地域医療に関する特別委員会の報告

平成26年6月13日に下記の議題について担当課が報告し、質疑応答を行いました。

①新病院建設の進捗状況

現在、杭工事を実施している。7月から基礎工事に入り、10月上旬から12月頃まで鉄骨工事、その後電気及び機械工事等を含めた内外装工事、附帯工事や外構工事を行い、来年秋に開院予定。

②新病院名称について

新病院の名称を決めるために、アンケートを7月1日～31日の間に実施し、9月に決定する。

③平成25年度決算額（赤字額）について

約1億6,000万円の収入不足が見込まれ、3月の臨時議会で一般会計からの繰入金1億5,600万円を増額計上し議決されたが、決算において収入不足が約4割減の9,600万円に圧縮された。

要因は、整形外科の退院が緩やかに進んだことによる増、県立新発田病院からの受け入れ件数増、医業費用の減額、支払消費税の減、光熱水費の節約、設備修繕・保守点検料の減額等と報告された。

④水原郷病院の現状

前年同月（4月）比で、常勤医師は2名減となったが、非常勤医師を増やして、外来診療体制を充実してきた。

⑤医師招へいの取り組み状況

1月から5月まで、新潟大学や新潟医療センターを訪問し、医師派遣協力を要請。その結果、非常勤医師を派遣してもらい、新たな外来診療体制の充実や検査枠の拡大が実現した。

委員からは、経営改善の一層の努力と医師確保に全力を尽くすべきとの意見が出されました。